

注入補修用・充填接着用軟質形 中粘度形エポキシ樹脂

エバーボンド® EP-302

エバーボンド® EP-302 は、軟質形中粘度タイプの注入用エポキシ樹脂です。挙動するひび割れに自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 (SK グラウトプラグ A 工法) でエバーボンド® EP-302 (軟質形低粘度タイプ) を先行注入した後、ひび割れ幅が 0.3mm 以上の場合グラウトプラグ A の圧力タンク内の樹脂がなくなった際に追加注入する軟質形中粘度形エポキシ樹脂です。また、モルタルやタイル浮き部の注入材として追従性及び接着用途としても使用できます。



建築構造物 改修 外壁塗装面



土木構造物 改修 地下ピット

エバーボンド® EP-302 の特長

- 混合性・注入性に優れ、作業性が良好です。
- クラックの動きに追従できる柔軟性と強力な接着性により構造物を一体化します。
- 硬化時や経時による収縮がほとんどない為、充填後の肌分かれなどを起こしません。
- ひび割れや外壁の浮き部の隙間に注入してもダレを起こしません。

エバーボンド® EP-302 の用途

- コンクリートの乾燥収縮により、ひび割れが大きくなるとされる際の注入・充填接着
- 挙動するコンクリート構造物のひび割れの隙間やモルタル等の浮き部の注入・充填接着

建築・土木用 軟質形中粘度形注入エポキシ樹脂

・JIS A 6024:2015 ・総プロ (土木補修用エポキシ樹脂注入材) 2種 ・NEXCO (ひび割れ注入材) 2種相当品

性状

エバーボンド®EP-302		
項目	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン
外観	乳白色ペースト状	淡黄褐色ペースト状
混合比	主剤：硬化剤 = 1：1 (重量比)	
混合比重	1.10 ± 0.1g/cm ³	
可使用時間	50分 (23 ± 2℃ : 300g)	

物性データ《建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂》JIS A 6024:2015 注入エポキシ樹脂 (軟質) の品質に基づく試験

JIS A 6024:2015 品質項目		エバーボンド®EP-302		
試験項目	試験条件	試験結果	JIS 規格値	
粘度 (mPa・s)	標準条件 A 23 ± 2℃	10710	5,000 ~ 20,000	
チキントロピックインデックス	標準条件 A 23 ± 2℃	4	5 ± 1	
接着強さ A 法 (MPa)	標準条件 B 23 ± 2℃	6.3	3.0 以上	
	湿潤条件	5.0	1.5 以上	
	乾湿繰返し条件	6.8	1.5 以上	
引張特性 B 法	標準条件 B 23 ± 2℃	3	1.0 以上	
	引張強さ (MPa)	加熟劣化条件 80 ± 3℃	3.4	1.0 以上
	破断時伸び (%)	標準条件 B 23 ± 2℃	99	50 以上
		加熟劣化条件 80 ± 3℃	86	50 以上
硬化収縮率 (%)	標準条件 B 23 ± 2℃	1	3 以下	
加熱減量 A 法	質量変化率 (%)	高温条件 B 110 ± 3℃	1	5 以下
	体積変化率 (%)	高温条件 B 110 ± 3℃	2	5 以下

物性データ 「コンクリートの耐久性向上技術の開発」(建設省総合技術開発プロジェクト) 注入材および充填材の品質規格 (土木補修用エポキシ樹脂注入材) 2種に基づく試験

「コンクリートの耐久性向上技術の開発」(総プロ) 3種		エバーボンド EP-302	
試験項目		試験結果	規格値
粘度 (チキントロピック係数)		4	4 ± 1
可使用時間 (分)		53	30 以上
硬化時間 (時間)		15	16 以内
硬化収縮 (%)		0.0	0.1 以下
伸び率 (%)		63	50 以上
モルタル付着強さ (乾燥面) (kgf/cm ²)		89	60 以上
付着耐久性保持率 (%)		131	60 以上

物性データ 「構造物施工管理要領」東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株) 表3-4-1 ひび割れ注入工法用エポキシ樹脂系ひび割れ注入材の品質規格2種に基づく試験

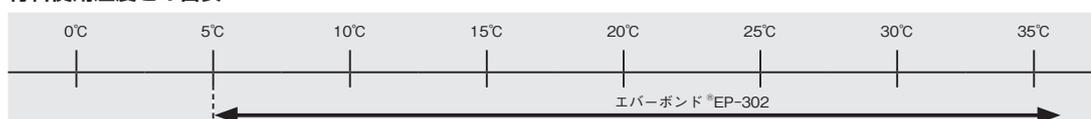
NEXCO「構造物施工管理要領」ひび割れ注入材 (2種)			エバーボンド EP-302		
試験項目	単位		試験結果	規格値	
未硬化の注入材	粘度 (チキントロピック係数)	—	4.0	4 ± 1	
	可使用時間	min	36	30 以上	
	収縮率	%	0.8	3.0 以下	
硬化した注入材	伸び	%	60	50 以上	
		N/mm ²	9	6 以上	
	モルタル付着強さ	乾燥面	N/mm ²	4	3 以上
		湿潤面	N/mm ²	130	60 以上
付着力耐久性保持率	%				

梱包容量

6kgセット (主剤:3kg、硬化剤:3kg) / ケース	低粘度形 (II-L-R) 一般用
-------------------------------	-------------------



材料使用温度との目安



※ 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

ダイフレックス製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらしません。ユーザーは、ダイフレックス製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のカタログ又はリーフレットの最新版に留意して下さい。カタログ又はリーフレットの最新版をご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

株式会社 ダイフレックス

〒163-0825
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F 私書箱第6086号
TEL.03-5381-1555 FAX.03-5381-1566

東京支店 / TEL.03-5381-0231	FAX.03-5381-0232	金沢営業所 / TEL.076-290-7408	FAX.076-290-7410
大阪支店 / TEL.06-6292-0511	FAX.06-6292-0522	さいたま営業所 / TEL.048-646-4870	FAX.048-646-4871
名古屋支店 / TEL.052-735-3991	FAX.052-735-3992	千葉営業所 / TEL.043-380-7981	FAX.043-380-7982
横浜支店 / TEL.045-290-9751	FAX.045-290-9755	多摩営業所 / TEL.042-402-5200	FAX.042-402-5201
札幌営業所 / TEL.011-804-8050	FAX.011-804-8061	広島営業所 / TEL.082-568-6085	FAX.082-262-7212
仙台営業所 / TEL.022-207-5010	FAX.022-207-5011	福岡営業所 / TEL.092-432-9220	FAX.092-432-9221
新潟営業所 / TEL.025-365-3010	FAX.025-365-3011		